



学校だより

入善町立飯野小学校
令和4年12月23日

社会で役立つ力を育てるには？

校長 中 英美

新聞に、興味深い記事が載っていました。それは、ある研修会での保護者の反応です。

「あなたにとって、お子さんは大切な存在ですか？」「あなたは、お子さんと出会えてよかったですか？」と、講師が問いかけると、保護者は首を大きく縦に振ったそうです。しかし、「あなたが職場の責任者なら、あなたのお子さんを採用しますか？」と問うと、多くは戸惑いの表情を見せられたそうです。皆さんだったら、どのように反応されるでしょうか。

社会で必要とされる力には「学力」「体力」「コミュニケーション能力」「情報活用能力」等、様々なものがあります。特に仕事においては、相手に喜んでもらうことが重要だと考えます。医者であれば病気を治して患者を喜ばせる。料理人であれば、相手がおいしいと思うものを作ってお客さんを喜ばせる。つまり、「相手のことを考えて働く力」を身に付けることが大切だと思うのです。

2学期は、人を喜ばせること、人のために役立つことをしようとする子供たちの姿がたくさん見られました。持久走の学習の時間に友達を懸命に応援する姿、学校のために進んで落ち葉掃きボランティアに参加する姿、さりげなく誰かの仕事を手伝う姿、友達に優しく勉強を教える姿等です。

明日から冬休みになります。年末年始は、大掃除やおせち作り、親戚での集まり等、家族の行事がたくさんあります。お子さんと一緒に作業をしながら、役立っていること、手伝ってもらって嬉しい気持ちを伝えてあげてください。きっと、人を喜ばせることが自分の喜びと感じる子供に育ちます。

※2学期の思い出発表の内容を抜粋して紹介します。

2学期の思い出発表会



<p>わたしは、2学きにとう校と下校をがんばりました。あついときもさむいときも、まい日あるいて学校にきました。ランドセルがおもかったけれど、一生けんめいあるけてよかったです。1ねん どうまたななこ</p>	<p>わたしががんばったことは、かけ算です。九九けんていをがんばりました。7のだんや8のだんがむずかしかったけれど、一生けんめいれんしゅうするとできるようになりました。2年 かいざかゆめ</p>	<p>2学期の思い出は、運動会です。リレーでは、さい後まで全力で走ることができました。エール交かんでは、大きくはく手ができてよかったです。3学きもいろいろな思い出をつくりたいです。3年 おおみあき</p>
<p>がんばったことは、運動会の100m走で初めて1位になったことです。来年も1位になれるようにがんばりたいです。うれしかったことは友だちがトランプを「いっしょにやろう」と言ってくれたことです。4年 清川こと</p>	<p>ハロウィンパーティーでは、ぼくがおばけになってお化け屋敷をしました。あまり驚いてもらえなかったけれど、みんな楽しんでくれて「もう一回やろう」と言ってくれたのがうれしかったです。5年 立塚海琉</p>	<p>運動会では、最高学年として自分の仕事に責任をもって取り組みました。準備では、特にテントや入場門を立てるのを協力してがんばりました。本番では全力を出し、楽しむことができてよかったです。6年 石田結愛</p>

張り切って学習！学校公開（3,4,5限）→緊急時引き渡し訓練 11月11日（金）

感染状況が幾分落ち着きを見せた11月、学校公開を行いました。4か月ぶりの保護者の参観に、子供たちもうれしそうで、張り切って学習に取り組んでいました。併せて、帰りの会后、緊急時児童引き渡し訓練を行いました。保護者の方々のご協力のおかげで、大変スムーズに実施することができました。ありがとうございました。



いつもより姿勢がピン！表情もにこやかに。



お母さん、いらっしやいませ！

3年ぶりに復活！異学年で仲よくプレータイム

11月24日（木）

“感染症対策を取りながら、できる活動を…”という事で、3年ぶりにプレータイム（朝活動に行く縦割り活動）を再開しました。全学年がグループに分かれて一緒に遊ぶのは、始めこそぎこちない様子でしたが、回数を重ねるにつれ、6年生を中心に少しずつ自然な関わり合いが見られるようになってきました。全校児童がより仲よくなれるとよいです。



よく聞いて、カルタを取るよ。

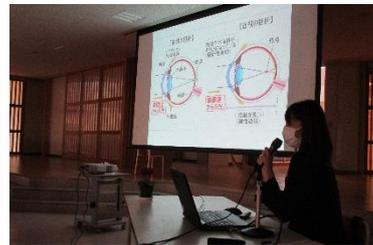


落とさないようにボール送り！

子供のうちから目を大切に！学校保健委員会（4,5,6年）

11月29日（火）

今年度の学校保健委員会は、「もっと知りたい！守りたい！わたしたちの大切な目」をテーマに行いました。まず、保健



委員会の子供たちが本校の子供たちの視力の実態を紹介し、目を守るにはどうしたらよいのかと疑問を投げかけました。それに答える形で、あさひ総合病院の視能訓練士 松岡ちひろ先生に講話をいただきました。子供たちは、「近視は治らない」「近視になるとやがて目の病気になる確率が高い」「目が悪いとなれない職業がある」等の話に驚いた様子でした。近視の予防として「できるだけ外で遊ぶ」「30分に1回は遠くを見て目を休ませる」等は、これから始まる冬休みにもぜひ生かしてほしいです。

ほっとタイム



*先生方の、ほっとできるようなエピソードや一言を紹介します。

「年末年始」

齊藤 康

年末年始は、駅伝を見たくて毎年わくわくしています。12月25日の高校駅伝、1月1日のニューイヤー駅伝、2日、3日の箱根駅伝。やはり富山県関係のチームや選手を応援したくなります。特に今年は金田龍心君（後輩なので）が箱根駅伝を走ってくれたらいいなと思っています。出場すれば、当然テレビの前で大いに応援します。がんばれ龍心君！



「夢」

大嶋 杏奈

「12月2日フィンランドから3年ぶりにサンタクロースが成田空港にやってきた」このニュースを見て、「サンタさんって本当にいたんだ」急に知りたくって、インターネットで調べた。すると、サンタクロースはグリーンランドに住んでいて、サンタクロースという仕事があることが分かった。しかし、これが正しいとは限らない。これを確認するには、実際にグリーンランドに行って自分の目で確かめないと。夢ができました。